

漁況情報 No.11 平成 18 年 8 月 22 日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

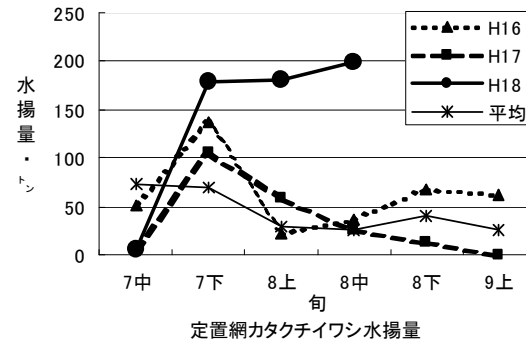
* 本報は当センターホームページ (<http://www.pref.iwate.jp/hp5507/>) に掲載しています。

<< トピックス >>

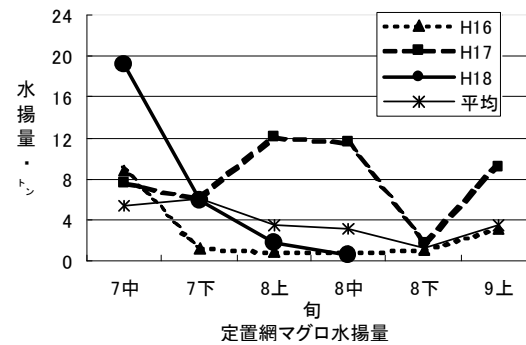
カタクチイワシ(定置網)の水揚げは好調です。
クロマグロ、ブリ(定置網)、スルメイカ(いか釣り)の水揚げは低調です。

1. 水揚げ状況

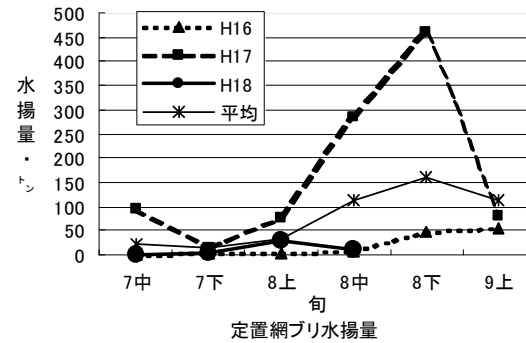
(1) カタクチイワシ(定置網)は山田を中心に水揚げがありました。8月中旬の水揚げ量は200トン(前年の7.8倍)、年累計は1,112トン(前年の2.2倍)でした。また、8月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は25トンで、旬水揚げはその7.9倍でした。



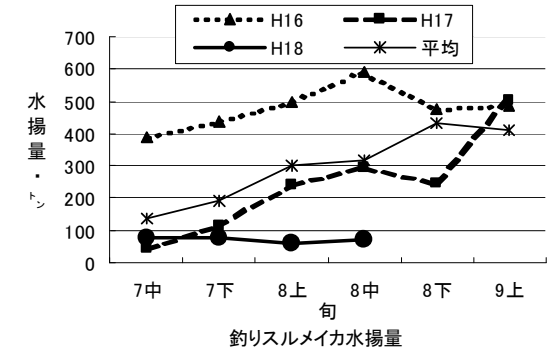
(2) クロマグロ(定置網)は県全域で水揚げが少なく、8月中旬の水揚げ量は482kg(前年の4%)、年累計は127トン(前年の1.4倍)でした。また、8月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は3.2トンで、旬水揚げはその15%でした。



(3) ブリ(定置網)は県全域で水揚げが少なく、8月中旬の水揚げ量は13トン(前年の4%)、年累計は50トン(前年の11%)でした。また、8月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は114トンで、旬水揚げはその11%でした。



(4) スルメイカ(いか釣り)は県全域で水揚げが少なく、8月中旬の水揚げ量は72トン(前年の24%)、年累計は377トン(前年の53%)でした。また、8月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は315トンで、旬水揚げはその23%でした。



* 水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計です。

2. 調査結果、その他の情報

(1) 第2次いか類漁場一斉調査結果

いか類漁場一斉調査は、本県および独立行政法人水産総合研究センター北海道区、東北区水産研究所、北海道、青森県、宮城県の各水産研究機関と共同で実施しています。

本県における一斉調査(漁業指導調査船:岩手丸)で調査した6点のスルメイカの分布密度(釣り機1台1時間当たりの漁獲尾数(CPUE))は0~0.50尾、平均0.15尾(前年0~35.71尾、平均10.74尾)で前年を大きく下回りました。アカイカの分布密度は、0~0.17尾、平均0.03尾(前年0~94.29尾、平均21.19尾)でスルメイカ同様前年を大きく下回りました。また、50m深水温は県中部沿岸で前年より1~3℃程高い他は、5~10℃程低い傾向が見られました(図1)。

「フィッシャリィ・ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>)で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもご活用下さい。

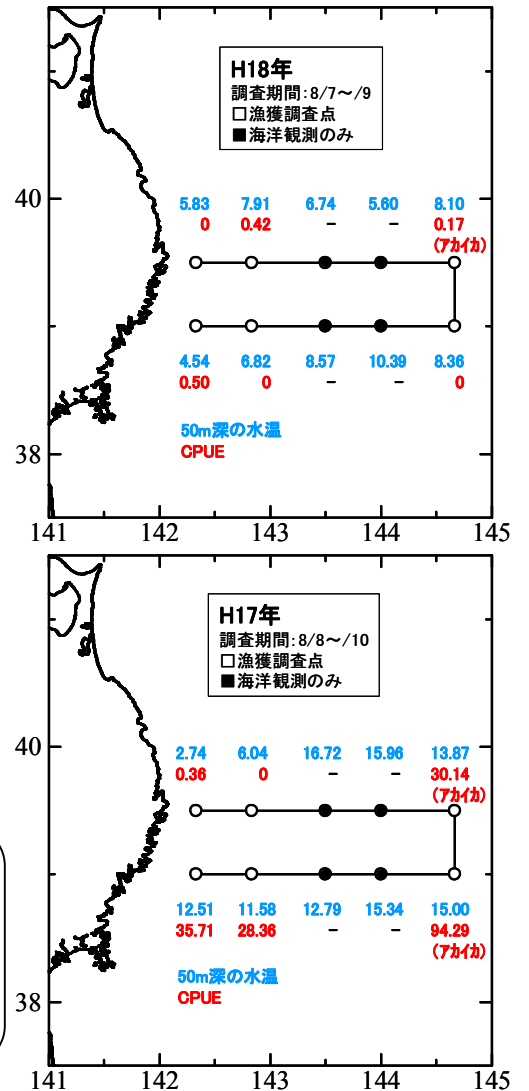


図1 第2次いか類漁場一斉調査結果

* CPUE: いか釣り機1台1時間当たりの漁獲尾数